

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】令和 2 年 8 月 20 日 (2020.8.20)

【公開番号】特開 2018-14320 (P2018-14320A)

【公開日】平成 30 年 1 月 25 日 (2018.1.25)

【年通号数】公開・登録公報 2018-003

【出願番号】特願 2017-130791 (P2017-130791)

【国際特許分類】

H 0 5 B 33/12 (2006.01)

H 0 1 L 51/50 (2006.01)

H 0 5 B 33/14 (2006.01)

H 0 1 L 27/32 (2006.01)

G 0 9 F 9/46 (2006.01)

G 0 9 F 9/30 (2006.01)

【 F I 】

H 0 5 B 33/12 B

H 0 5 B 33/14 A

H 0 5 B 33/14 Z

H 0 1 L 27/32

G 0 9 F 9/46 Z

G 0 9 F 9/30 3 6 5

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 7 月 2 日 (2020.7.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 の表示素子、第 2 の表示素子、第 3 の表示素子、及び第 1 の絶縁層を有する表示装置であって、

前記第 2 の表示素子及び前記第 3 の表示素子は、前記第 1 の絶縁層を挟んで前記第 1 の表示素子とは反対側に位置し、

前記第 1 の表示素子と前記第 2 の表示素子とは、互いに重ならない部分を有し、

前記第 1 の表示素子と前記第 3 の表示素子とは、互いに重ならない部分を有し、

前記第 1 の表示素子は、第 1 の光を発する第 1 の発光層を有し、

前記第 2 の表示素子は、第 2 の光を発する第 2 の発光層を有し、

前記第 3 の表示素子は、第 3 の光を発する第 3 の発光層を有し、

前記第 2 の発光層と前記第 3 の発光層は、互いに離間して設けられ、

前記第 1 の光、前記第 2 の光、及び前記第 3 の光は、互いに同じ向きに射出され、且つ、互いに異なる色を呈する、
表示装置。

【請求項 2】

第 1 のトランジスタと、

前記第 1 のトランジスタと電氣的に接続された第 1 の表示素子と、

第 2 のトランジスタと、

前記第 2 のトランジスタと電氣的に接続された第 2 の表示素子と、

第 3 のトランジスタと、

前記第 3 のトランジスタと電氣的に接続された第 3 の表示素子と、を有し、

前記第 1 のトランジスタ乃至前記第 3 のトランジスタは、同一の第 1 の絶縁層上に設けられ、

前記第 2 の表示素子及び前記第 3 の表示素子は、前記第 1 のトランジスタ乃至前記第 3 のトランジスタを挟んで前記第 1 の表示素子とは反対側に位置し、

前記第 1 の表示素子と前記第 2 の表示素子とは、互いに重ならない部分を有し、

前記第 1 の表示素子と前記第 3 の表示素子とは、互いに重ならない部分を有し、

前記第 1 の表示素子は、第 1 の光を発する第 1 の発光層を有し、

前記第 2 の表示素子は、第 2 の光を発する第 2 の発光層を有し、

前記第 3 の表示素子は、第 3 の光を発する第 3 の発光層を有し、

前記第 2 の発光層と前記第 3 の発光層は、互いに離間して設けられ、

前記第 1 の光、前記第 2 の光、及び前記第 3 の光は、互いに同じ向きに射出され、且つ、互いに異なる色を呈する、

表示装置。

【請求項 3】

請求項 1 または請求項 2 において、

前記第 2 の光及び前記第 3 の光は、それぞれ前記第 1 の絶縁層を通過して前記第 1 の表示素子側に発せられる、

表示装置。

【請求項 4】

請求項 1 または請求項 2 において、

前記第 1 の光は、前記第 1 の絶縁層を透過して前記第 2 の表示素子及び前記第 3 の表示素子側に発せられる、

表示装置。